

週間感染症情報

2017年45週～46週 2017年11月6日より2017年11月19日まで

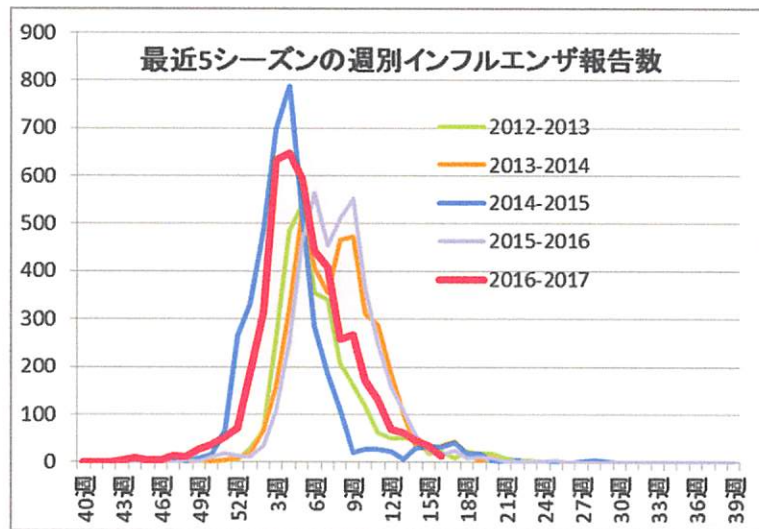
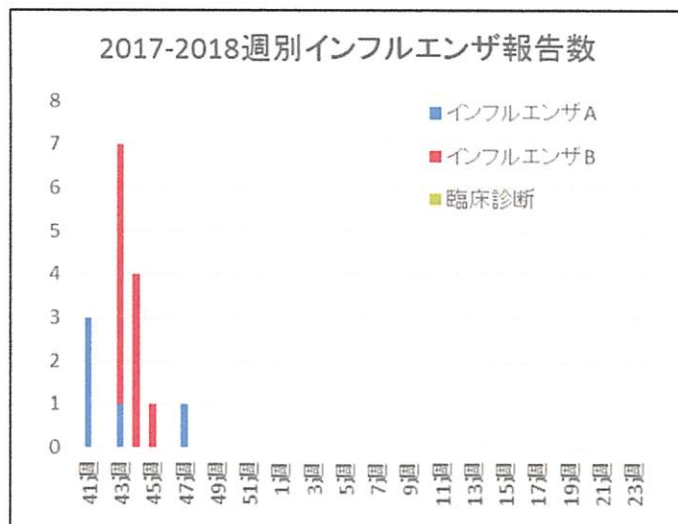
	45週	46週
麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	4	2
ムンプス(おたふくかぜ)	1	
百日咳		
溶連菌感染症	6	8
手足口病	5	10
ヘルパンギーナ		
伝染性紅斑	2	3
感染性胃腸炎	24	24
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	3	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	7	6
ヘルペス性口内炎	3	3
アデノウイルス感染症	4	1
RSウイルス感染症	1	4
マイコプラズマ感染症	2	
インフルエンザ(臨床診断含む)	1	
インフルエンザA	0	
インフルエンザB	1	
A+B	0	

45週と46週2週分の報告です。感冒症状の症例が増えてきました。久しぶりの喘息発作の症例も見かけます。

川西地区のインフルエンザBの流行は43週から始まり45週には終息しました。しかし、今週11月22日に56歳男性のインフルエンザAの報告がありました。急に寒くなり、今後インフルエンザの流行が立ち上がってくると予想されます。例年なら11月がインフルエンザワクチン接種のピークですが、今シーズンはワクチン株の選定が遅れたこともあり、ワクチンの入荷が遅れています。12月中旬以後になると十分入荷する様になると思います。

ワクチン接種後、2週間あまりで抗体は上昇します。右下のグラフの様に、インフルエンザは12月中旬から流行が始まり、1月～2月にかけて大きな流行の山が来ます。ワクチン接種は12月中旬以後でも間に合います。あせることなく、手洗いマスクの着用、体調不良のときは早めに休むなど、感染予防に努めて下さい。

ノロウイルスによると思われる、ウイルス性胃腸炎を見かけるようになりました。特に、幼児の集団では、突然嘔吐した場合空気感染となることがあります。子どもたちは部屋から退出させて、吐物の処理をして下さい。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)